

# 平成26年 年頭のごあいさつ

新年明けまして  
おめでとう  
ございます。

町民の皆さんには、希望に満ちた新しい年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、「富士山」のユネスコ世界遺産登録や2020年オリンピック、パラリンピックの東京誘致が実現するなど、国際的に明るい話題があった一方、東シナ海をめぐる中国、韓国との緊張関係が続くなど、外交的には多難な一年でした。

さて、我が国見町におき

ましては、いまだに東日本大震災や東京電力福島第1原子力発電所の事故からの復興の途上であり、除染対策、県北浄化センターの汚泥問題、健康管理事業、風評被害対策をはじめ、解決しなければならぬ課題を抱えています。この状況を打破し、安全・安心な「明るい、魅力あふれる国見町」を町民の皆さんと一丸となって作り上げることが、引き続き、私へ課せられた使命であると考えています。

平成24年11月の町長就任以来、1年1ヶ月が経過しましたが、この間、町民の

皆様のご理解とご協力によって、町内7箇所に除染の仮置場を選定し、住宅除染を進めてまいりました。

また、県北流域下水道浄化センターの汚泥については、飯館村のご配慮により、減容化を行った上で、搬出できる見込みとなりました。この間の損害賠償につきましては、引き続き地域住民の皆さんとともに、東京電力に対し、粘り強く要求してまいります。

さらに国見町の中核産業である農業の振興を図るため、国見町で生産された桃や、昨年出荷再開できたアシロ柿等のPRにも引き続き

き取り組み、風評被害の払しょくに努めてまいります。

また震災の教訓を今後に活かす「東日本大震災検証委員会」を立ち上げ、町民の皆さんのアンケートいただきながら、当時の対応の反省のもとに今後の取り組み内容についての検討を進めることとしています。

さらに岐阜県池田町や北海道二セコ町などの間で「災害時相互応援協定」を締結し、大災害時の相互応援を行うことといたしました。

また、国見町の活気を取り戻す元氣・活力あるまちづくり事業としては、昨年4月には観月台公園の「桜のライトアップ」を行い、町内外に国見町をPRするとともに、8月には「商工会青年部」による「夏祭り」を支援し、9月23日には「復興・絆」くにみの日事業として「第18回義経まつり」をリニューアルし、商店街での武者行列を復活いたしました。特に義経まつりでは、町内外から約3万人もの方々においでいただくこ

とができ、国見町を大きくPRし、国見町の魅力を発信することができました。

また、11月23日には、「明日へ。復興・きずなイルミネーション実行委員会」を中心に町民の皆さんのご参加を頂き、それぞれの心に「灯」を灯していただくことを目的として「キャンドルパレード」や「イルミネーション点灯式」を行いました。12月23日には、2回目の「キャンドルパレード」と「あつかし山ビュッグツリー点灯式」を行い、復興への願いを新年に繋ぐものとなりました。

さらに本年は、これまで検討いただいていた「交流の場」に係る建議をもとに、「道の駅」を含めた「交流の場」の整備等について、農・商・工の各分野の皆さんにご参加いただき、一歩一歩ではあります、着実に進めてまいります。

結びに、本年3月29日に



国見町長  
太田 久雄

は、国見町が誕生して60年の記念の節目を迎えます。まだまだ復興途上の中ではありますが、還暦を迎える国見町にとって飛躍の年となるよう、また町民の皆さんにとって良い年でありませう、心よりご祈念申し上げます。

